

**令和6年度 コミュニティ・スクール及び
地域学校協働活動に関するアンケート調査結果について**

【調査の概要】

1 調査の目的

尼崎市では、市立学校に学校運営協議会を設置し、地域の方などが学校運営の当事者として参画する「コミュニティ・スクール」の仕組みを導入するとともに、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の一体的な取組を推進することにより、学習指導要領の理念でもあります「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しているところです。本アンケート調査は、本市のコミュニティ・スクールや地域学校協働活動の状況を把握するとともに、その効果や課題を検証するため実施しました。

2 調査の対象

令和6年度1学期までに「コミュニティ・スクール」を導入した学校の学校運営協議会会長及び学校長

3 調査期間

令和7年3月10日（月）から令和7年3月31日（月）まで

4 調査方法

Googleフォームからアンケート内容に回答（QRコードにより回答）

※ Googleフォームからの回答ができない方は、紙ベースのアンケート用紙での回答

5 回答者数

63人（学校長31人、学校運営協議会会長32人）

【調査の結果①】

【質問①】

地域の方などが学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」と学校・地域が互いにパートナーとして協働して行う「地域学校協働活動」の一体的な推進が、学校運営の課題解決や地域コミュニティの振興に繋がることを知っている。

学校運営の課題解決や地域コミュニティの振興に繋がることを知っている。



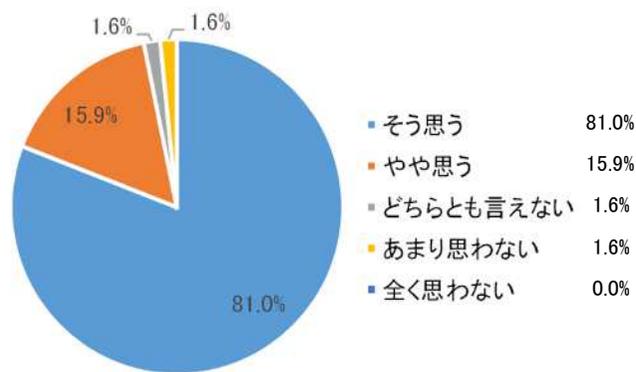
【結果の概要①】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進の効果について「知っている」とする割合が非常に高くなっています。

【質問②】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が、子ども達の学びや成長を支える環境づくりになることを期待している。

子ども達の学び等を支える環境づくりになることを期待している。



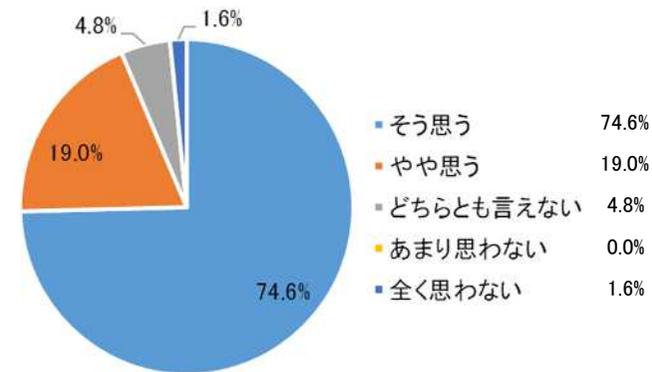
【結果の概要②】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が、子ども達の学びや成長を支える環境づくりになることを期待するという割合が非常に高くなっています。

【質問③】

学校運営協議会では、学校の教育目標や運営方針が共有されている

学校の教育目標や運営方針が共有されている。



【結果の概要③】

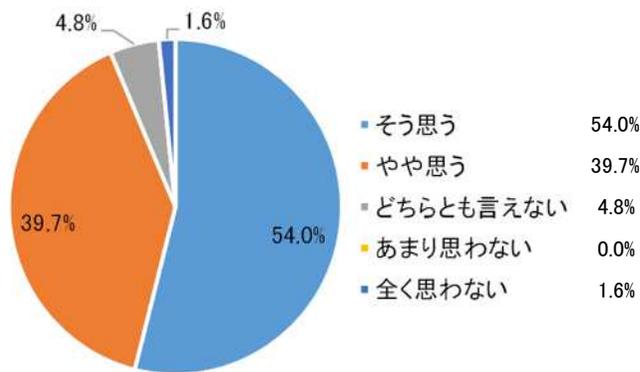
学校運営協議会では、学校の教育目標や運営方針が共有されているとする割合が高くなっています。

【調査の結果②】

【質問④】

学校運営協議会では、学校が抱える課題や子ども達のために必要となる支援などが共有されている。

学校の課題や子ども達に必要な支援等が共有されている。



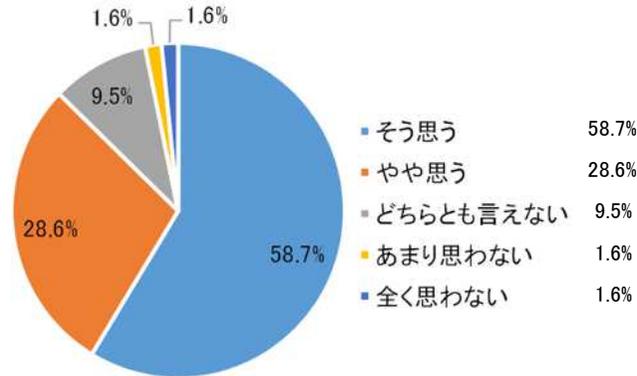
【結果の概要④】

学校運営協議会では、学校が抱える課題や子ども達のために必要となる支援などが共有されているとする割合が高くなっています。

【質問⑤】

学校運営協議会では、学校や地域などの立場に関係なく、学校運営や子ども達の支援策などについて発言し、話し合うことができる。

立場に関係なく発言し話し合うことができる。



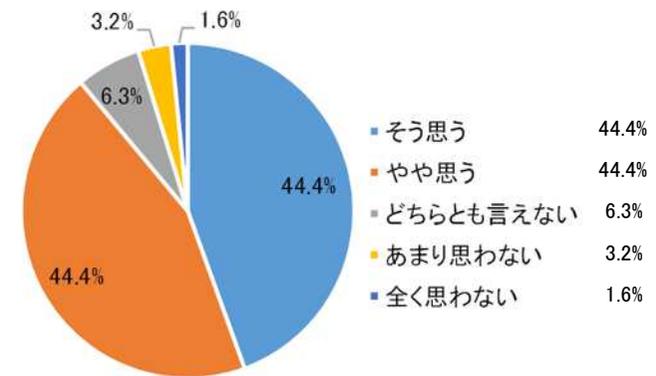
【結果の概要⑤】

学校運営協議会では、学校や地域などの立場に関係なく、学校運営や子ども達の支援策などについて話し合うことができるとする割合が高くなっています。

【質問⑥】

本校では、地域学校協働活動が盛んに行われている。【例：登下校の見守り、図書室の魅力づくり、清掃活動、園芸ボランティア、防災訓練、地域行事への参画、街頭補導活動、健全育成啓発など】

地域学校協働活動が盛んに行われている。



【結果の概要⑥】

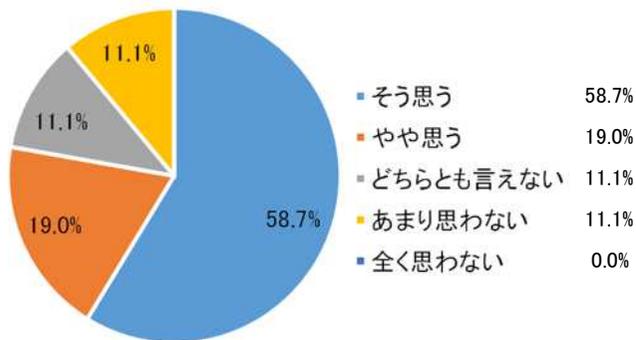
各校では地域学校協働活動が盛んに行われているとする割合が高くなっています。

【調査の結果③】

【質問⑦】

地域学校協働活動などの活動を行う際には、地域課職員の関わりがある。

地域学校協働活動等を行う際には地域課職員の関わりがある。



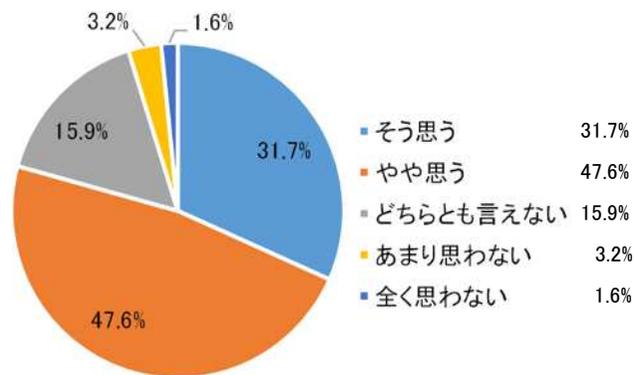
【結果の概要⑦】

地域学校協働活動等を行う際には、地域課職員の関りがあるとする割合が高くなっています。

【質問⑧】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動により、学校が抱える課題などの解決策が見いだせた。

コミュニティ・スクール等により学校が抱える課題等の解決策が見いだせた。



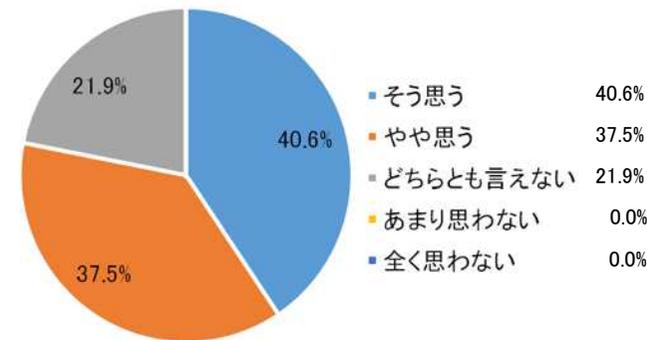
【結果の概要⑧】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動により、学校が抱える課題などの解決策が見いだせたとする割合が高くなっていますが、「やや思う」とする割合が「そう思う」とする割合よりも高くなっています。

【質問⑨】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の参画は、やりがいや誇りを感じる。(会長のみ回答)

コミュニティ・スクール等の参画はやりがいや誇りを感じる



【結果の概要⑨】

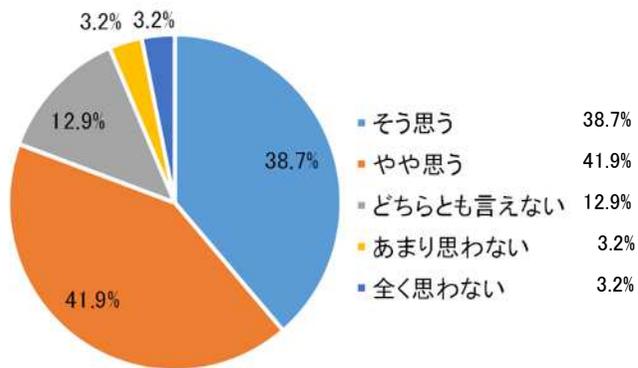
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の参画にやりがいや誇りを感じるとする割合が高くなっていますが、「どちらとも言えない」とする割合が一定数あります。

【調査の結果④】

【質問⑩】

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進により、登下校の見守りや花壇整備、清掃活動などを地域の方などを行うようになり、教職員の負担軽減や地域連携への理解に繋がった。(学校長のみ回答)

教職員の負担軽減や地域連携への理解に繋がった。



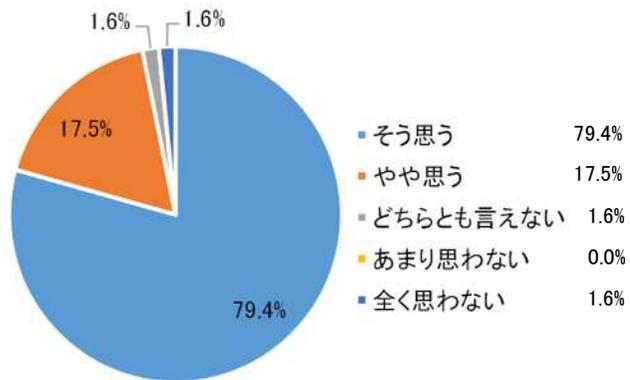
【結果の概要⑩】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の一体的な推進により、教職員の負担軽減や地域連携への理解に繋がったとする割合が高くなっています。

【質問⑪】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を、今後ますます発展させるには、行政職員(社会教育課や地域課など)の継続した支援が必要である。

行政職員の継続した支援が必要である。



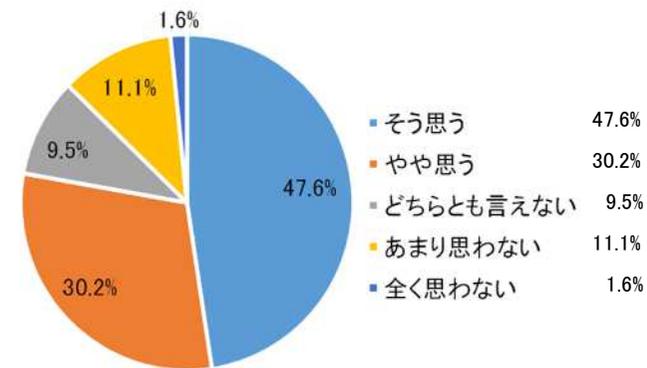
【結果の概要⑪】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の発展には、行政職員の継続した支援が必要であるとする割合が非常に高くなっています。

【質問⑫】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について、他の学校がどのような取組を行っているかを知りたい。

他の学校がどのような取組を行っているかを知りたい。



【結果の概要⑫】

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について、他の学校がどのような取組を行っているかを知りたいとする割合が高くなっています。

【調査の結果⑤（自由記載）】

【会長意見（自由記述）】

・ 学校長と教頭が、何よりも子ども達を大切に思っておられること、また、教職員を大切にされていることが常に伝わってくるのが素晴らしいと思っています。それを保護者や地域の方に広めることで、先生方が子ども達ともっと向き合う時間が増え、教育の質も向上することを願っています。先生方の負担軽減に出来るだけ取り組み、保護者・地域と共に関わる方全員が負担なく楽しんでやれるようにしていきたいと思っています。

・ 学校が抱える困り事などを共有出来て、解決へ向けて動ける又は解決した事が良かったと思います。ただ、まだまだ子ども達や学校の事で何か出来るのでは…との思いがあります。

・ 学校管理職や教職員のやる気で学校運営協議会が発展すると思うが、発展した矢先に管理職や教職員が異動した場合、1から作り出す必要があるのでは、かなりの労力を要するのでは、と思っています。どれだけ保護者へ活動を理解してもらうかが、今後重要になってくると考えています。

・ いろいろなボランティア活動を通じて、教職員・児童が地域の大人が学校に入ることに對して”この人誰？”的な違和感を持たれることが無くなりました。子ども達も身近な存在として感じる事が出来るようになったのか、相手の目を見て挨拶してくれるような児童が増えています。

・ 学校の要望によって、地域の人材を紹介するなどのケースがあり、子どもたちの学びや環境整備の助けなどができると良いと思います。

【調査の結果⑥（自由記載）】

【学校長意見（自由記述）】

- ・学年の活動等でご支援頂き、役員、保護者の方々も子どもの活動を知ることができた。教職員、地域、子どもがハッピーハッピーな関係となっているので、今後も継続していきたいです。
- ・地域の方々に関わっていただくことで、子どもたちの活動も充実し、興味関心につながった。それに伴い、理解や技能の向上にもつながったと感じます。また、地域の方々の学校に関わる意識にも前向きな様子が感じられるようになりました。
- ・コミュニティスクールになって地域の方と話す機会が増え、子どもたちの様子をより共有できるようになりました。
- ・地域の方と学校教職員で防災研修が実施できたことがよかったです。また、職員からも継続していくべきだと思意見が上がっています。
- ・構成メンバーで活動や意見交流の幅が大きく変わると感じました。一人で独断で決めず、様々な可能性や意見を聞くことの大切さを再認識しました。
- ・毎年実施しているイベントの前後に工作教室やスイカ割などを行っているが、より多くの地域の方の参画がありました。また、地域の子供も達が多く参加でき、豊かな繋がりが生まれるなど、健全育成面で良き交流の場になっています。

【まとめ】

【コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に対する期待について】

質問②の結果により、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が、子ども達の学びや成長を支える環境づくりとなることを期待されていることが分かる結果となっています。

【学校運営協議会の実施状況について】

質問③、④、⑤の結果により、学校運営協議会では、学校の教育目標や運営方針、子ども達のために必要となる支援などが共有され、学校や地域などの立場に関係なく協議することが概ねできているという結果となっていますが、活動の底上げに取り組み、「そう思う」とする割合を高めていく必要があります。

【地域学校協働活動の実施状況について】

質問⑥、⑦の結果により、地域課職員と連携しながら各校において地域学校協働活動を実施していることが分かる結果となっていますが、地域学校協働活動が盛んに行われているかについて「そう思う」とする割合が40%程度となっているため、活動の底上げに取り組む必要があります。

【コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進による効果について】

質問⑧の結果により、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動により、学校が抱える課題などの解決策が見いだせたとする割合（「そう思う」とする割合）が、前年度調査から8.2ポイント上昇していることから、少しずつ効果が出てきていることが分かりますが、活動の更なる底上げに取り組み、「そう思う」とする割合を高めていく必要があります。

【行政職員の継続した支援について】

質問⑩の結果により、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動を発展させるためには、行政職員の継続した支援が必要であることが分かる結果となっていますので、引き続き行政職員による継続した伴走支援が必要となります。

**アンケート調査にご協力いただきました皆様
ありがとうございました。**